

笑楽幸

土佐清水市立清水小学校
校長室便り 令和3年5月17日

早くも梅雨入り

先週に入り、九州南部が平年より19日も早く梅雨入りしましたが、高知県でも先週から雨が続き、もうすぐ梅雨入りかなと、おもっていたら先日四国地方でも梅雨入りとなりました。近畿、東海地方でも梅雨入りとなりました。梅雨入りがあったとき、梅雨明けも早いのか？？と思いたいのですが、梅雨の期間が決まっているわけではないので、もしかしたらジメジメした日が長期間続くのかと考ただけで憂鬱になるのは私だけでしょうか。

長雨の影響か、先週の木曜日には緑ヶ丘の日和佐（燃料貯蔵タンク？）の近くで土砂崩れがあり、現在、歩道は通行禁止となっています。迂回路はありますが浦尻方面から登下校している児童のみなさんは安全に気をつけて下さい。

さて、コロナ感染の拡大は一向に治まらず緊急事態宣言だけでなく、まん延防止等重点措置も全国的に広がっています。

今まで以上に危機意識を持って生活することが大切になってきますが、変異ウイルスにより、感染率も高くなっているようで、しっかりと感染症対策をとりながら、1学期後半を乗り切りたいものです。

日曜日は運動会を予定しております。すでにお知らせしたとおり、今年度も半日開催で競技内容や応援人数を制限しての運動会となりますが、子ども達にとってはできることに喜びを感じているようです。

天気の間合を見ては、校庭では子ども達の元気な声が響いています。週間予報では、曇りマーク。前日までは雨の予報です。予定してあることは、予定通りに終わることが一番ですが、こればかりは思い通りにはいかないようです。

でも雨が降らないようにてるてる坊主も準備して、運動会を迎えたいと思います。

保護者みなさんは昨年と同様に不便をおかけしますが、感染拡大の現状をご理解の上、ご協力をお願いします。



集団の心理

新学期に入り、1ヶ月以上経ちました。1年生も学校生活に慣れて、運動会という大きな行事に取り組みます。

保育所、幼稚園でも経験してはいますが、1年生にとっては、いろいろなルールがあり、規律ある集団行動をとることはとてもしんどいところもありますが、経験をしながら小学校生活に慣れ、社会にも慣れていくのです。5年、6年生になると当たり前にできることが1年生では大変だとあらためて感じる時があります。

逆に1年生では、素直に先生の注意をしっかりと聞いて頑張ることもできます。しかし5年生、6年生になると思春期や成長もありますが、素直に注意が聞けなかったり、好き嫌いや苦手意識からマイナスな態度をとってしまうこともあります。

運動会の練習も始まり、バタバタしているからではありませんが、最近、高学年を中心に、注意されたら他の人のせいにしてたり、自分だけ良ければと思われる行動が見られる場面があります。

今まで教員の長い経験の中ではさまざまな場面を見てきました。

その中の1つで先生との信頼関係を築くことができている児童のいたことを思い出します。

その児童に対して先生はどうしていいか悩んでいました。とても真面目な先生で、話していると子どものことを大事に思っていることは伝わってきました。授業に参加してほしいと児童を注意するのですが、素直に聞いてくれません。周りの児童からは、先生の指導を不満に感じている児童がでてきます。これはベテランの先生にも若い先生にもどちらにも起こりうることです。

時間が経つにつれて行動は、エスカレートしていきます。席には着いているが、教科書の代わりに図書館から借りた本を出して読み始めます。その児童に注意をするのですが、他の児童の授業を進めなければならないので、授業を始めます。

このときに周りの子ども達の中にも、好きなことをしていても構わないのだという感情ができます。授業に参加するように注意をしているにもかかわらず、子ども達の基準としては許される行為となってしまうのです。

いけないことだと分かっているのに、これまで授業をしていた児童の中にも、分からないように本を出して読み始める児童がでてきます。

先にも言ったように、いけないことだと分かっているのに、人間はある条件が揃ってしまったとき、こういうことが絶対ないとは言いきれない、そういう存在なんだってことを、自覚して下さい。そして自分もその中のひとりであることを知っていた方がいいと思うのですが、このままでいいのでしょうか。

これらの状況が判断力や理性的思考が低下しているとしたら、これから起こりうる状況はただ1つ。この集団は学級としての役割を果たせなくなり、学ぶ機会を失ってしまいます。

児童のみなさん（特に高学年）、4月の始業式でも話しましたが、特に6年生はこの学校を一番知っている人達で、『鍛え、磨く』と言う新しい教育目標を達成するために、集団で起こりうる心理を上手にを使って、学び合いのある集団を創っていくことができるのは、みなさんだけです。